



編集委員退任にあたって

2016年4月から塚本編集長のもと2年間、2018年4月から稲見編集長のもと2年間、合計4年にわたり、会誌編集委員を務めさせていただきました。この間、本務先の任務の都合もあり、会誌編集委員として十分な戦力になれなかったことは申し訳なく思っております。とはいっても、会誌編集委員会での活動では、貴重な経験をさせていただきましたので、その経験をここでご紹介させていただき、編集委員退任のメッセージとしたいと思います。会誌編集委員会に参加させていただいて、まず感じたことは、委員会の運営体制がしっかりと確立されているということでした。情報学を取り巻く環境の目まぐるしい変化を敏感に捉え、特定の専門分野以外の一般の読者でも読めるように記事化して、タイムリーに読者に届けるという要求事項を満たしながら、月刊で会誌を刊行していくことは並大抵のことではありません。編集長のリーダーシップ、多様性を受容する委員会の雰囲気、委員間のクリエイティブな議論、各委員の主体的な働きが、イノベティブな会誌編集を導いたのではないかと考えております。連載漫画「IT日和」や「巻頭コラム」をはじめとして、企画段階から最終チェックに至るまでを、定

例会と Slack を併用して進めていく作業は楽しい経験でした。学会公式 LINE スタンプの作成の際には、オンラインで委員からスタンプのネタ集めをしていたので、いくつかアイデアを入れさせていただきましたが、(今明かしますが)「ACKを返して」が採用されたことは密かに嬉しく、このネタでも取り上げてくれるのかと学会の懐の深さをしみじみ感じたのを覚えています(本誌2017年4月号の漫画「情報処理学会公式LINEスタンプができるまで」に詳しい説明がありますのでぜひご覧ください)。編集長からは、委員就任の間に小特集か特集を1つは企画運営してほしいと言われておりましたが、結果的に「ビブリオ・トーク」や「べた語義」での数編の記事の寄稿にとどまってしまう、会誌編集委員としての職責を十分に果たさないまま退任することをお詫びいたします。一方で、私としては会誌編集委員会活動への参加を通じて、情報処理学会のポテンシャルの高さを実感するとともに、イノベティブな編集委員会の実現の仕方に関する多くのヒントを得ることができました。このような機会を与えてくださったことに深く感謝いたします。会誌編集委員会がイノベティブであり続け、本誌がますます充実していくことを願ってやみません。

(田名部元成／横浜国立大学)



編集委員退任にあたって

2016年の夏、昔同じ職場で働いていた前任者の先輩からの声掛けがきっかけで、3年半にわたり会誌編集委員会の仕事にかかわる機会をいただきました。2011年から4年間、学会論文誌運営委員会の情報システムグループで論文編集にかかわっていたので、1年半ぶりの本会への復帰でした。前回の論文誌編集では、投稿論文の査読を軸に、研究分野の専門性を掘り下げる「深さ」を意識した活動を進めてきましたが、今回の会誌編集を振り返ると、多くの研究分野を対象として多様な読者に情報処理の魅力を伝える「広さ」を意識する活動が多かったと感じています。

会誌編集委員の任期前半で印象に残っているのは、2017年の10月号に掲載された「ビブリオ・トークー私のオススメ：世界天才紀行 ソクラテスからスティーブ・ジョブズまで」の執筆です。日常業務で注目論文を紹介することはありましたが、書籍を対象としたことはなく、書籍の選定や書評の切り口の参考になればと、今までは十分目を通していなかった諸先輩方の記事を読み返し、多様な背景に感心するとともに、学術分野としての情報処理の広さを再認識する機会となりました。任期後

半では、職場での遠方出張と委員会が重なることが増えてしまい、会誌作りに十分貢献できませんでしたが、編集活動における皆さんの想いに触れ、多くの学びを得ることができました。

編集委員にかかわった3年半は、新しい読者開拓のために、将来の本会の分野を支えるジュニア会員世代向けのコンテンツを充実させる変化のときだったと感じています。編集委員を始めた当初、小学校6年生だった自分の子供は高校生となりましたが、編集委員の任期中にコンピュータに興味を持ち、プログラミングの学びを深めていった時期とも重なります。最初こそ Scratch でのゲーム作りなど遊びの延長でしたが、オンライン講座で Python などの言語を習得した今では複雑なコードも書けるようになっていきます。ジュニア世代の能力の高さを身近で目の当たりにしたことで、彼らの世代をしっかりと巻き込むことができれば、情報処理の分野はさらに発展していくことを肌で感じています。

3年半の編集委員を通して、編集にかかわる皆さんの専門分野の広さと見識の高さに触れる貴重な機会をいただいたことに感謝しています。今回の経験を研究業務にも活かして、情報処理の発展に引き続き貢献していきます。

(井本和範／(株)東芝)



編集委員退任にあたって

2019 年度末をもって、会員サービス分野（MWG）の編集委員を退任させていただきました。MWG は、会議レポートのとりまとめ・閲読や、「会員の広場」に掲載するモニタコメントの閲読などを担当しています。

4 年前に編集委員に着任させていただいたときは、「情報処理」がどのように編集され出版されているのか、まったく分からない状態でした。1 年目・2 年目には、MWG の業務をほかの編集委員とオンラインで分担して担当させていただく中で、以前よりも会誌の内容に興味を持って読ませていただく機会が増えました。ときには、モニタコメントを閲読させていただく中で興味を持った記事の内容を、あらためて確認させていただくこともありました。また、直接会ったことがないほかの人の原稿を閲読・修正するという経験により、自身で論文などを執筆するときにも増して、正しい日本語の使い方や分かりやすい文章の構成を意識する習慣が身につきました。

幹事・主査を担当させていただいた 3 年目・4 年目では、MWG の業務のとりまとめをさせていただきました。さまざまな方に会議レポートの執筆をお願いした際に、快く引き受けてくださったことには、本当に感謝いたしております。また、

MWG 以外の編集委員の方も参加する会誌編集委員会本会議に主にオフラインで参加させていただくようになり、会誌が全体としてどのように作られていくかを知りつつ、会誌のあるべき姿（たとえばオンライン化など）や記事の内容の検討に参加させていただきました。稲見編集長をはじめとする編集委員会の方々と、新年会など会誌編集委員会とは違う場所での議論をさせていただいたのも楽しい思い出です。ちょうどこのころに、会誌編集委員会では Slack が主な連絡手段として使われるようになり、オンラインでの議論もさらに活発に行われるようになったと感じています。

また、ビブリオ・トークへの寄稿を行って、これまで書いたものとは異なる種類の文章を書かせていただく経験もさせていただきました。ビブリオ・トークの記事が紹介した本の著者の方の目にもとまり Twitter で拡散いただいたことで、あらためて情報処理学会誌の影響の大きさを感じることとなりました。

本当に多くの刺激を受けて、さまざまなことを学ばせていただいた 4 年間でした。MWG の皆様、会誌編集委員会本会議の皆様、事務局の皆様、モニタの皆様や会議レポート執筆者の皆様のおかげだと感じております。今後とも「情報処理」が時代に合わせた発展をしつつ、多くの人に愛される会誌となりますよう、陰ながら応援させていただきたいと思います。

（谷田英生／富士通研究所）

● 論文誌ジャーナル掲載論文リスト

Vol.61 No.5 (May 2020)

【特集：情報システム論文】

- 特集「情報システム論文」の編集にあたって 阿部昭博
- スイング計測装置を用いたプロ野球選手の特性分析に関する研究 田中成典 他
- 留学生を対象とした観光行動特性分析手法の提案とその活用に向けた考察 蘭 天陽 他
- ITIL 導入におけるシステム運用者の変容の段階 角田 仁
- サーバ 1 台で構成可能な秘密分散法を用いた行列乗算の効率化でセキュアな委託計算 岩村恵市 他

【一般論文】

- HIDS アラート調査のための HTTP リクエストとホストイベントの関連付け手法 鐘本 楊 他
- 秘密分散法を用いた効率的な秘匿大小比較プロトコル† 藤井 航 他
- メンテナビリティ・セーフティ・セキュリティを考慮した IoT システム向けリスク評価手法の開発 佐々木良一
- 機械学習を利用した創作物の知的財産的価値への寄与の評価のための情報理論的な測度について* 金子 格
- 統計的検定学習支援用ウェブアプリケーション BuMoc の開発 朴 壽永 他

*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note



● 論文誌トランザクション掲載論文リスト

(May 2020)

【論文誌 コンシューマ・デバイス&システム Vol.10 No.2】

- Improving Face Recognition for Identity Verification by Managing Facial Directions and Eye Contact of Event Attendees Akitoshi Okumura 他
- 機械学習を用いたツイート解析と統計的異常検知による通信障害検出システム 山田尚志 他
- ARIA：シミュレーション・エミュレーション連携基盤を利用したインタラクティブな都市型水害の被害予測システム 廣井 慧 他



会員の広場

今月の会員の広場では、3月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「TOKYO 2020 大会に向けて」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■開催が危ぶまれる新型コロナウイルス騒ぎの中でなければ興味深く読めただろうと思います。(匿名希望)

特別解説「量子コンピュータを用いた量子超越実験」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■量子超越実験の解説を読んで、量子コンピュータの応用を特集で取り上げていただきたかったです。(滝内邦弘)

■筆者は限られた紙面で努力されたと思うが、非専門家が理解するには解説不足、一方で専門家にとっては自明な類いの解説ではないか。記事の価値を疑問に感じた。(匿名希望)

■量子計算の困難さと実験のポイントが「量子計算の仕組み」の節の中に含まれており、読みにくさを感じた。(匿名希望)

特別解説「神奈川県ハードディスク流出事件」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■物理的破壊を推し進めるのではなく、論理的なデータ消去技術を洗練すべきという意見に納得した。(匿名希望)

■専門分野でなくとも自身も考えながら読むことができた。(國武悠人／ジュニア会員)

特集「5G 時代の幕開けに向けた研究開発と実証」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■諸外国に比べて数年は遅れていると理解していた我が国の5Gに関する研究開発が2020年春の商用サービス本格展開の準備として、3年間の実証実験を実施し、技術検証やさまざまなユースケースの有益性について慎重に確認を行ってきたことを知り、有意義であった。(匿名希望)

■5Gを特集されたのは時宜を得ていると思う。世界的にも注目されている中、国際動向、我が国の位置づけなどの解説が欲しかった。せっかく各分野の専門家が執筆されているだけに残念。(中島一郎)

■ボリュームがあり見応えがありました。利用者視点からの記事も増えるとよいと思います。(匿名希望)

■「eMBB」、「URLLC」、「mMTC」という環境がハードで、サービスがソフトと考えると、環境を使い切るようなソフトがまだ、日本では見えていないように思える。今回の特集は、今の環境で動くサービスのカタログと感じた。驚くようなサービスの出現と、実現のための研究、課題解決に期待する。(匿名希望)

■少し難しかったです。(匿名希望／ジュニア会員)

教育コーナー「ぺた語義」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

ぺた語義：高校における新教科「情報」ができたころのこと

■背景が分かりやすく書かれていた。(匿名希望)

連載「情報の授業をしよう！：東京都立石神井高等学校での情報の授業」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■すぐに授業に活かせる実習例が端的に書かれていて、役立ちます。(匿名希望)

連載「5分で分かる!? 有名論文ナナメ読み：Jacob Devlin et al. : BERT : Pre-training of Deep Bidirectional Transformers for Language Understanding」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■深層学習関連の記事はいつも途中で分からなくなるのですが、どこがブレイクスルーなのか、具体的にどういう仕組みにしたのか、分かりやすかったです。(匿名希望)

■機械翻訳、質問応答、評判分析に関するブレイクスルーの要点が理解でき有意義だった。(匿名希望)

連載「IT紀行：難しく理解不能!? 第61回プログラミング・シンポジウムに行ってみた!」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■左ページの左側がスタートになり、読みやすくなりました。(匿名希望)

■IT紀行はせっかくイラストを採用しているので、先生方の特徴を捉えた似顔絵だけでなく説明にも直感的に分かるようなイメージを期待します。グラフィックレコードという技法があるので参考にされるとよいのではないのでしょうか。(滝内邦弘)

連載「先生、質問です!」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■ロボット訓練士とサイボーグ技工士のお話が面白かったです。(匿名希望)

■会誌の「先生、質問です!」が、『先生、質問です!』公開セッションとして全国大会で公開されたのは、親しみが増すきっかけとなり、よかった。(匿名希望)

オンライン版で読みたい記事、期待するコンテンツについて以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。

■過去に掲載された記事のアップデート情報。 (匿名希望)

■時事的なテーマについての記事を読みたい。 (匿名希望)

■動画での解説コンテンツ、アニメーション等で理解しやすくなることを期待。 (匿名希望)

■記事が検索できるとよいです。 (匿名希望)

■フィードバックや改版ができる記事、双方向コンテンツなど。 (匿名希望)

■ジュニア向けのプログラミング教育記事と、そのプログラミング環境とのリンクや、作ったユーザアプリの公開と相互コメントがあると面白そうです。 (匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■ビブリオ・トークー書評一のジュニア会員版のコーナーを作してほしいです。 (匿名希望/ジュニア会員)

■コロナウイルスの影響でさまざまなイベントがオンライン開催となっております。現場の対応で苦労した点などをご紹介いただけたらと思います。 (匿名希望)

■なぜデマが広まるのかを取り上げてほしいです。 (匿名希望/ジュニア会員)

■台湾のオードリー・タン大臣にインタビューしてほしい。 (角田洋太郎/ジュニア会員)

■応用数学に利用されているコンピュータの種類、適用分野等関係する諸々の事柄をお願いいたします。 (匿名希望)

■量子コンピュータや5Gは、人間が最も苦手とする「待つこと」へのストレスを飛躍的に解消してくれると期待しています。現在、世の中は新型コロナウイルスで大混乱。特効薬の開発など、「待つこと」の課題は尽きません。日本が誇るICTの総力をあげて、世界にお手本を示したいものです。 (匿名希望)

■Processingで文字を出す方法を教えてください。専門用語の解説があるととても分かりやすいです。 (神長春花/ジュニア会員)

■高大接続教育に興味を持っております。特に情報分野について。新学習指導要領に備え、どのような変革が期待されているか(特に大学側)。 (匿名希望)

■読みたくなる解説とか概要が目次に入っていると、興味のある記事に出会えてよいと思いました。 (匿名希望)

■新型コロナウイルスに対する情報技術の取り組み(東京都の感染状況BIツール等)、全国大会のチャレンジも読んでみたいです。 (匿名希望)

【本欄担当 伊藤将志・樺 惇志/会員サービス分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <https://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もより良い会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、
・記事に対する感想、意見
・記事テーマの提案
・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言
など自由にご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <https://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>>で
これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。 <URL: <https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

※新型コロナウイルス感染症拡大を受け、開催方法の変更、開催中止などの可能性がありますので、最新情報を Web でご確認くださいませう
 お願いいたします。

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「若手研究者」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/21-K.html	5月29日(金)		
	論文誌「快適な運用管理を支えるインターネットと運用技術」特集 への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/21-F.html	6月8日(月)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/21-H.html	8月3日(月)		
5月14日(木)～	第222回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	3月6日(金)	当日可 要申込 (マイページにて 受付予定・準備中)	★オンライン開催
5月15日(金)	https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim222.html			
5月14日(木)～	第111回グループウェアとネットワークサービス・	3月11日(水)	当日可 要申込	★オンライン開催
5月15日(金)	第37回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn11spt37.html		(マイページにて 受付予定・準備中)	
5月14日(木)～	第89回コンピュータセキュリティ・	3月13日(金)	当日可 要申込	★オンライン開催
5月15日(金)	第49回インターネットと運用技術合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec89iot49.html		(マイページにて 受付予定・準備中)	
5月15日(金)	北陸支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2020.html			富山大学 五福キャンパス
5月19日(火)	関西支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2020.html			大阪市中央公会堂
5月20日(水)	中国支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2020.html			広島YMCA 国際文化センター
5月21日(木)	東海支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2020.html			★書面開催
5月21日(木)	九州支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2020.html			★オンライン開催
5月22日(金)	北海道支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2020.html			北海道大学
5月25日(月)～	第66回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会	4月6日(月)	当日のみ	慶應義塾大学 鷹町タウンキャンパス(予定)
5月26日(火)	https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi66.html			
5月27日(水)	第25回デジタルコンテンツクリエーション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/sig/dcc/	4月28日(火)	当日のみ	中京テレビ本社 (愛知県名古屋市中村区)
5月28日(木)～	第183回マルチメディア通信と分散処理・	4月9日(木)	当日可 要申込 (マイページにて 受付予定・準備中)	★オンライン開催
5月29日(金)	第95回モバイルコンピューティングとパーベシブシステム・ 第81回高度交通システムとスマートコミュニティ合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps183mb195its81.html			
5月28日(木)～	第149回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os149.html	4月16日(木)	当日のみ	那覇市IT創造館
5月29日(金)～	第31回教育学習支援情報システム研究発表会	4月9日(木)	当日のみ	京都工芸繊維大学
5月30日(土)	https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle31.html			
6月1日(月)～	第188回ヒューマンコンピュータインタラクション・	4月10日(金)	当日可 要申込 (マイページにて 受付予定・準備中)	★オンライン開催
6月2日(火)	第56回エンタテインメントコンピューティング合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci188ec56.html			
6月3日(水)	2020年度定時総会 https://www.ipsj.or.jp/topics/soukai20200603.html			学士会館
6月1日(月)～	第129回プログラミング研究発表会	5月1日(金)	当日のみ	筑波大学
6月2日(火)	https://sigpro.ipsj.or.jp/pro2020-1/			計算科学研究センター
6月3日(水)～	第109回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	4月15日(水)	当日のみ	函館コミュニティプラザ Gスクエア
6月4日(木)	https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm109.html			
6月4日(木)～	第88回電子化知的財産・社会基盤研究発表会	4月15日(水)	当日のみ	立教大学
6月5日(金)	https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip88.html			太刀川記念館
6月6日(土)	第152回情報システムと社会環境研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is152.html	4月13日(月)	当日のみ	青山学院大学 青山キャンパス
6月6日(土)	第123回人文科学とコンピュータ研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch123.html	4月15日(水)	当日のみ	亜細亜大学
6月6日(土)～	第127回音楽情報科学・第132回音声言語情報処理合同研究発表会	4月3日(金)	当日のみ	ヤマハ本社事業所(浜松)
6月7日(日)	https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus127slp132.html			
6月10日(水)	東北支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2020.html			東北大学 青葉1キャンパス
6月12日(金)	四国支部報告会 https://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2020.html			愛媛大学
6月24日(水)～	マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2020)	3月20日(金)		ロイヤルホテル土佐 (高知県安芸郡)
6月26日(金)	シンポジウム http://dicomo.org/			
6月25日(木)～	第54回組込みシステム研究発表会	5月14日(木)	当日のみ	東京工業大学
6月26日(金)	https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/emb54.html			大岡山キャンパス
6月27日(土)	第44回ゲーム情報学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi44.html	5月18日(月)	当日のみ	佐世保工業 高等専門学校
6月29日(月)～	第128回数理モデル化と問題解決・	5月8日(金)	当日のみ	琉球大学50周年記念館
7月1日(水)	第62回バイオ情報学合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps128bio62.html			

7月10日（金）	第50回インターネットと運用技術研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot50.html	5月15日（金）	当日のみ	アクロス福岡
7月29日（水）	The 4th cross-disciplinary Workshop on Computing Systems, Infrastructures, and Programming (xSIG2020) http://xsig.hpcc.jp/2020/	3月6日（金）		フェニックス・プラザ （福井市民福祉会館）
9月1日（火）～ 9月2日（水）	第110回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm110.html		当日のみ	北海道大学 札幌キャンパス
9月1日（火）～ 9月3日（木）	FIT2020 第19回情報科学技術フォーラム https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2020/			北海道大学 札幌キャンパス
9月2日（水）～ 9月4日（金）	The 15th International Workshop on Security (IWSEC 2020) https://www.iwsec.org/2020/index.html	3月23日（月）		Happiring Hall and Fukui International Activities Plaza, Fukui, Japan
9月7日（月）～ 9月9日（水）	DA シンポジウム2020—システムとLSIの設計技術— http://www.sig-sldm.org/das/			鳥羽シーサイドホテル
9月10日（木）～ 9月12日（土）	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2020 (SES2020) https://ses.sigse.jp/2020/			株式会社日立製作所 横浜研究所
9月26日（土）～ 9月27日（日）	2020年度（第73回）電気・情報関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月8日（水）	講演・参加など 申込受付は6月8日より	九州産業大学
10月28日（水）～ 10月30日（金）	The 13th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2020) http://www.icmu.org/icmu2020/	5月20日（水）		機械振興会館
2021年				
1月18日（月）～ 1月21日（木）	26th Asia and South Pacific Design Automation Conference (ASP-DAC 2021) http://www.aspdac.com/aspdac2021/			日本科学未来館

2020 年度定時総会の開催について

会長 江村克己

2020 年度定時総会を下記により開催いたします。総会の案内状は、5 月中旬頃に法律上の社員である代表会員の方々にお送りいたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。
なお、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、開催方法の変更などの可能性がございますので、最新情報は Web でご確認くださいませようお願いいたします。

記

日 時 2020 年 6 月 3 日（水）15：00～16：45 頃
会 場 学士会館（〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28）
次 第 1. 2019 年度に係る報告
2. 新名誉会員の推薦
3. 新役員の選任
4. 2020 年度に係る計画（報告）
5. 会費滞納会員の取り扱い（報告）
6. 表彰（功績賞ほか）

照会先 一般社団法人情報処理学会管理部門

Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

〔トピックス〕

- 4月10日 日本学術振興会志賞第11回（2020年度）推薦募集における本会からの推薦について
- 4月10日 学会著作物を ICT 人材育成のためのオンライン教育に無償で利用いただけます ～新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受けてのオンライン教育等の利用拡大に向けて～
- 4月7日 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う緊急事態宣言による学会事務局業務等について
- 4月3日 新型コロナウイルス感染症の影響による学会事務局業務等について
- 4月3日 インターンシップ情報（広告）のお申し込み受付中
- 4月1日 [プレスリリース] 2020 年度認定情報技術者（CITP）企業認定の審査日程のお知らせ
- 4月1日 代表会員名簿（2020 年度）
- 4月1日 2020 年度シニア会員申請のご案内（締切：7/31 迄）
- 3月30日 FIT2019 の講演申込を開始しました
- 3月30日 論文誌「5G 時代の社会を創るモバイル・高度交通システム」特集 論文募集
- 3月28日 2020 年度役員改選の投票結果について
- 3月27日 子供たち（小中高生）の自宅学習支援プロジェクト
- 3月26日 高等学校共通教科情報科の大学入学共通テストでの実施に関する意見
- 3月26日 [プレスリリース] 認定情報技術者（CITP）企業認定において リコー IT ソリューションズを認定
- 3月25日 「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム～データ思考の涵養～（案）」への意見

人材募集 (有料会告)

申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000 円（税込 22,000 円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000 円（税込 33,000 円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000 円（税込 55,000 円）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000 円（税込 4,400 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし3日以内（土日祝日除く）に返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■国立天文台研究教育職員 (情報セキュリティ室講師)

募集職種 研究教育職員 講師 1名

所 属 国立天文台情報セキュリティ室

専門分野 情報通信技術 (ICT) または関連分野

応募資格 博士号取得者

着任時期 採用決定後なるべく早い時期

提出書類 (英文にて提出すること) (応募書類の詳細な条件について、国立天文台採用情報<<https://www.nao.ac.jp/en/contents/job-vacancy/job-20200323-itso.pdf>>を必ずご確認ください)

(1) カバーレター、(2) 履歴書、(3) 論文リスト (SPIE と COSPAR を含む査読論文とそれを区別すること。特許についても記載のこと)、(4) 国際共同研究を含む研究歴、(5) 本職に対する抱負、(6) 応募者とその直属の上司の連絡先 (E-mail アドレスと電話番号)、(7) 評価書3通以上

応募締切 2020年6月15日 (17:00 (JST))

提出先 国立天文台求人公募システム<<https://jobregister.nao.ac.jp/>>

照会先 E-mail: JobRegister-contact-10@nao.ac.jp

その他 応募前に提出書類欄に記載のURLを必ずご覧ください

■上智大学理工学部情報理工学科

募集人員 助教 1名 (5年任期、ただし昇任の可能性あり)

専門分野 ヒューマンデータサイエンス、画像処理工学、AI (ロボティクス関連も含む)、ブレインマシンインタフェース (人間の知的情報処理や人間にかかわるあらゆるデータ処理等に関する研究および教育ができる方)

担当予定科目 学科基礎科目、ゼミナール、卒業研究指導のほか、専門分野に応じて、機械学習・ニューラルネットワーク、画像処理工学、生体医学工学、ヒューマンコミュニケーション等から数科目。また、Applied Computer Science、研究論文指導を含む大学院科目等

応募資格 博士またはPh.Dを取得済み、または着任までに取得見込みであること。その他については下記Webページをご覧ください

着任時期 2021年4月1日

応募締切 2020年6月30日 (必着)

送付先 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学理工学部長 陸川政弘

照会先 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学理工学部情報理工学科長 澁谷智治

E-mail: dp-icses-ofc@sophia.ac.jp Tel(03)3238-3320

その他 詳細については、上智大学公式Webページ (https://www.sophia.ac.jp/jpn/info/employment/DIC_202003.html) をご覧ください

■九州工業大学大学院情報工学研究院 生命化学情報工学研究系

募集人員 (女性限定公募) 助教 1名

(任期: 採用日から5年間 テニユアトラック制度を適用)

専門分野 バイオインフォマティクス

着任時期 2020年9月1日以降の早い時期

応募締切 2020年7月10日 (必着) *応募書類は郵送のみ受付

照会先/送付先 〒820-8502 福岡県飯塚市川津 680-4

九州工業大学大学院情報工学研究院生命化学情報工学研究系

系長 倉田博之

E-mail: kurata@bio.kyutech.ac.jp Tel(0948)29-7828

その他 URL: <http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/lab/index5>

【勤務地】 飯塚キャンパス: 福岡県飯塚市川津 680-4

【給与】 「テニユアトラック制度 (採用日から5年間) での雇用期間」および「テニユア審査後に任期なしとして雇用された後」ともに、国立大学法人九州工業大学における第二期年俸制適用教育職員の給与に関する規程による

【勤務時間】 専門型裁量労働制

詳細は、<https://bio.iizuka.kyutech.ac.jp/news/2020/0413-502.html> を参照

■東京都市大学メディア情報学部情報システム学科

募集職種 教授または准教授、あるいは講師 (常勤/任期付き・テニユアトラック)

募集人員 a. システムデザイン 1名 b. ICT アセスメント 1名

着任時期 2021年4月1日

専門分野 a. ソフトウェア工学、システム開発、プロジェクト

マネジメント、要求工学、サービス工学

b. 経営情報システム、ICT アセスメント、ICT マネジメント、

IT サービス、組織管理

応募締切 2020年8月31日 (必着)

その他 詳細: 東京都市大学採用情報 メディア情報学部情報システム学科 <https://www.tcu.ac.jp/recruitinformation/>

CONTENTS

Preface

- 546 **A Modest Contribution to Democracy from a City that Can See the World's Tomorrow**
Tatsuo IGARASHI (Mayor of Tsukuba)

Special Article

- 548 **Report on On-line Holding of the 82nd National Convention**
Yasuo OKABE (Steering Committee Chair of the 82nd National Convention / Kyoto Univ.) and Minoru NAKAZAWA (Program Committee Chair of the 82nd National Convention / Kanazawa Institute of Technology)
- 552 **How can We Introduce and Manage Hospital Information Systems - Analysis of Uda City Hospital Case**
Tomohiro KURODA (Kyoto Univ. Hospital)

Special Features

Latest Trends in on Hardware Security

- 558 **0. Foreword**
Tsutomu MATSUMOTO (Yokohama National Univ. / National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)), Takayuki SASAKI (NEC / Yokohama National Univ.) and Masaki ISHIGURO (Mitsubishi Research Institute, Inc.)
- 560 **1. Physical Attacks on Hardware**
Naofumi HOMMA and Rei UENO (Research Institute of Electrical Communication, Tohoku Univ.)
- 564 **2. Hardware Acceleration of Cryptographic Processing**
Junichi SAKAMOTO and Naoki YOSHIDA (Yokohama National Univ.)
- 568 **3. Hardware Trojan Threats and Its Detection Methods**
Yuichi HAYASHI (Nara Institute of Science and Technology / National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)) and Shinichi KAWAMURA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))
- 572 **4. Instrumentation Security**
Tsutomu MATSUMOTO and Daisuke SUZUKI (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))
- 576 **5. System Hardening by Trusted Execution Environment**
Kuniyasu SUZAKI (Technology Research Association of Secure IoT Edge Application Based on RISC-V Open Architecture (TRASIO) / National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)) and Takayuki SASAKI (NEC Corp. / Yokohama National Univ.)
- 580 **6. Basics of Automotive Cybersecurity (Automotive Networks and Exploitation Examples)**
Camille GAY (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))

Differential Privacy

- 584 **0. Foreword**
Mikiko SODE TANAKA (International College of Technology)
- 586 **1. Data Privacy Preserving Technologies and Differential Privacy**
Ryo FURUKAWA (NEC)

2. Differential Privacy

Masayuki TERADA (Research Labs., NTT DOCOMO, Inc.)

3. Recent Advances in Local Differential Privacy

Kazuto FUKUCHI and Jun SAKUMA (University of Tsukuba / RIKEN AIP)

ET RoboCon : A Unique Robot Contest of Software Design for Embedded Technology - Interviews with Shining Students -

0. Foreword

Takashi HIRAYAMA (Iwate Univ.)

1. ET RoboCon as an Opportunity of Software Education and Practice - Modeling Exercise to Fit Current Engineering Needs -

Yuki TSUCHITOI (Fuji Xerox Co., Ltd.)

2. An Interview with KAMOGAWA

Kosuke KONISHI, Kako UCHIDA, Taro KOBARA, Luca TAKETOSHI (Kyoto Prefectural Kyoto Technical Institute) and Takashi HIRAYAMA (Iwate Univ.)

3. An Interview with Ganchan+X

Koki KAINUMA, Yusuke SANO, Takafumi MAKI, Tanami YAMAUCHI (Graduate School of Iwate Univ.) and Takashi HIRAYAMA (Iwate Univ.)

Article

- 620 **Can Delegation Agreements Promote Agile Software Development? - Challenges for Agile Adoption of Ordering Companies -**
Kumi JINZENJI (NTT Corp., NTT Software Innovation Center)

"Peta-gogy" for Future

- 627 **On the Learner's Device Assigned to Each Child One by One**

Yoichiro MOCHIZUKI (Oita Prefectural College of Arts and Culture)

Public Lecture of Cyber Security Exercise

Kazutaka MARUYAMA (Meisei Univ.), Nobuhiko SASAKI (Stonebeat Security Inc.) and Hiroyuki TAKATANI (McAfee Co., Ltd.)

Recommendation of Recursive Thinking

Masaki NAKAGAWA (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)

Let's Learn Informatics

- 636 **Guidance in the Information Content Field in the Professional Subject "Joho"**
Tadashi NAGADOU (Okinawa Prefectural Mirai Technical High School)

Shopping Boast

- 607 **Gathering to Share Original Programming Projects for Junior**

Biblio Talk

- 642 **Skimming a Famous Paper in Five Minutes**
- 646 **IT Travelog Manga**

次号 (7月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」 さようなら、パスワード付き ZIP メール

セキュリティシアター／PPAPとはなにかーその発展の黒歴史ー／PPAPのセキュリティ意義／現代のカーゴカルト

「小特集」 サイバー・ウォーズ

サイバー攻撃 (国内外のサイバー攻撃の現状についての事例紹介) ／機械学習とサイバーセキュリティ (機械学習等 AI 技術を用いたサイバーセキュリティの研究・運用の現状の総説) ／安全保障と ICT (国内外の国際関係論的議論の総説) ／海外の安全保障と ICT／インテリジェンスと ICT (ロシアにおけるインテリジェンス、サイバー攻撃と技術について) ／サイバー攻撃に関する国際法：タリン・マニュアルについて／座談会：サイバー戦争、フェイクニュースとエンジニア

教育コーナー：べた語義

連載：IT 紀行／集まれ！ジュニア会員！！／買い物自慢／5分で分かる！？有名論文ナナメ読み／情報の授業をしよう！／先生，質問です！／ゼロからはじめるアルゴリズム／ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム

会議レポート：SANER 2020 会議報告／バーチャル学会開催後記ーVR空間に見出す次世代の学会形式ー

ご意見をお寄せください！

【6月10日頃までにお出しく下さい】

宛 先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html> Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 （E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください）
 ※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
<https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>

[コード]

[1] ご氏名

[2] ご所属 Tel. () -

[3] E-mail:

[4] 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
 (e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員） (g) その他..... 4- []

[5] 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
 (f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
 (h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員） (j) その他 5- []

[6] 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []

[7] 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []

[8-1] あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8-1- []

[8-2] あなたのご意見は「会員の広場」（会誌およびWeb）に掲載される場合があります。その場合：
 (a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 8-2- []

[9] どちらの媒体で記事をお読みになりましたか？
 (a) 冊子版 (b) 情報学広場（電子図書館） (c) Kindle (d) fujisan (e) その他..... 9- []

[10] 今月号（2020年6月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
 [a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

巻頭コラム：「世界のあしたが見えるまち」から民主主義へのささやかな貢献を 10-1- []

特別解説：情報処理学会第82回全国大会 実録 緊急オンライン開催 10-2- []

特別解説：電子カルテの安全な導入と運用 10-3- []

買い物自慢：3Dプリンタのキットを買ってみた 10-4- []

特集：ハードウェアセキュリティの最新動向

0. 編集にあたって 10-5- []

1. ハードウェアに対する物理攻撃 10-6- []

2. ハードウェアを用いた暗号処理の高速化 10-7- []

3. ハードウェアトロージャンの脅威と検出 10-8- []

4. 計測セキュリティ 10-9- []

5. Trusted Execution Environment によるシステムの堅牢化 10-10- []

6. 自動車サイバーセキュリティの基本 10-11- []

小特集：差分プライバシー

0. 編集にあたって 10-12- []

1. データプライバシー保護技術と差分プライバシー 10-13- []

2. 差分プライバシーの基礎と動向 10-14- []

3. 局所差分プライバシーの最新動向 10-15- []

連載：集まれ！ジュニア会員！！ 10-16- []

ミニ特集：ET ロボコン：異色の情報系ロボコン

0. 編集にあたって 10-17- []

1. ソフトウェア教育・実践の場としてのETロボコン 10-18- []

2. KAMOGAWA の訓練生にインタビュー 10-19- []

3. がんちゃん+Xの学生にインタビュー 10-20- []

解説：準委任契約はアジャイル開発を促進できるか 10-21- []

べた語義：1人1台学習者端末について考える 10-22- []

べた語義：実践的演習を伴うサイバーセキュリティ公開講座の取り組み 10-23- []

べた語義：再帰的思考のすすめ 10-24- []

情報の授業をしよう！：専門学科「情報科」における情報コンテンツ分野の指導 10-25- []

ピピリオ・トーク：誰でもすぐに戦力になれる未来食堂で働きませんか 10-26- []

5分で分かる！？有名論文ナメ読み：Prévost, R. et al: Make It Stand: Balancing Shapes for 3D Fabrication 10-27- []

IT 紀行：全国大会がオンライン開催！ 公開セッション「先生、質問です！」の裏側お見せします 10-28- []

〔11〕 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔11-1〕 良かった記事 11-1- []
 〔11-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
 〔11-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 11-3- []
 a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
 e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 〔12-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 ハードウェアセキュリティの最新動向：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []
 〔13-2〕 差分プライバシー：a) 専門家 b) 非専門家 13-2- []
 〔13-3〕 ET ロボコン：異色の情報系ロボコン：a) 専門家 b) 非専門家 13-3- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

〔15〕 会誌のオンライン版ができたらどのような記事を読みたいか、どのようなコンテンツが期待できるか、などで意見がございましたら教えてください。

〔16〕 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <https://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会誌配布、会員特典、会費等口座振替、海外からの送金、賛助会員、電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、出版、コンピュータ博物館（情報処理技術遺産）
著作権	copyright@ipsj.or.jp		転載許可、著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読、DP レポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／JIP／トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、研究グループ、シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会、情報処理教育委員会、アクレディテーション対応
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、プログラミングコンテスト、プログラミング・シンポジウム、協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー、短期セミナー、IT フォーラム、ソフトウェアジャパン、その他講習会
認定情報技術者制度	ipsj.citp@ipsj.or.jp		認定情報技術者制度
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会、支部、選挙、総務系選奨、関連団体、アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、セキュリティ、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 https://www.itscj.ipsj.or.jp/

ハードウェアセキュリティの各領域の第一人者に多大なご尽力をいただき、本特集を完成させることができた。この場をお借りして、感謝を申し上げたい。ハードウェアレイヤは馴染みの薄い読者も多いと思われるため、本特集を編集するにあたり、各記事の著者と編集委員が協力して記事をブラッシュアップした。その結果、どの記事も分かりやすく、面白い内容になっていると思う。本特集が、

情報処理の基盤となるハードウェアのセキュリティを理解する助けになれば幸いである。また、この特集をきっかけとして、ハードウェアセキュリティの研究領域と他の研究領域の境界で、研究者・技術者の間での交流や、コラボレーションによる新たな技術が生まれることを期待したい。

(佐々木貴之／本特集エディタ)

本小特集企画の始まりは、会議でポロっと発した「差分プライバシー」というワードが、編集委員の皆様にとって初耳で興味を持っていただけであった。差分プライバシー自体は特別新しい概念ではないです。専門家の方からはいまさらな特集に見えるかもしれませんが、さまざまな分野の研究者が集まっている編集委員の中でこの反応であれば、幅広い読者のいる情報処理で特集をしてもよいのではないかと思います。企画をしてみました。未熟者ゆえ小特集ですけど。

さて、この小特集、著者の先生方を集めるに苦労をしました。というのも、国内で差分プライバシーを解説していただくのに皆様が納得する人選というのはなかなかないですから、ご多忙のため引き受けていただけないこともありますね。一番の問題は私の人脈のなさだったりしますが……。結局のところ（私以外は）とても信頼のおける先生方にご執筆いただけたので、個人的にはとても読

み応えのある小特集になったと思っています。なお、企画者本人である私が執筆したのは苦肉の策です。私の記事は専門家の方からは時代遅れで稚拙な内容に見えてしまう可能性を危惧してはおりますが、何とぞご容赦いただければ。

EUにおける一般データ保護規則（GDPR）の施行だったり、日本の個人情報保護法の再改正であったり、パーソナルデータの取り扱いには日に日に注意しなければならないようになってきています。でも、うまく活用できればとてつもなく有用かもしれないという期待は計りしれません。差分プライバシーがすべてを解決してくれるとは思いませんが、今最も有望視されている研究対象だと思っています。本小特集で興味を持った方々がこの分野の研究に手を伸ばす1つのきっかけとなれば幸いです。

(古川 諒／本小特集エディタ)

ET ロボコンは異色の情報系ロボコンです。本会も協賛しており、毎年若手奨励賞を贈っています。本会誌で特集するのにピッタリの話です。2019年は、11月にチャンピオンシップ大会が開催され、「KAMOGAWA」が若手奨励賞を受賞しました。そこで、この機会にETロボコンのミニ特集を企画することになりました。

ETロボコンは、ロボットを自動制御する組込みソフトウェアの技術を競うコンテストです。全自動ロボットの競技ですので、人間が操縦することはありません。大学や高専などの学生チームだけでなく、名だたる企業の社会人チームも参加して、手加減なしのガチンコ勝負が繰り広げられます。このように、巷でイメージされるロボコンとはだいぶ様相が異なりますので、まずは概要説明が必要です。そのため、ミニ特集の筆頭記事として、ETロボコン本

部審査委員長に、ETロボコンの特徴・狙い・ルールなどを中心に概説していただきました。

さて、本ミニ特集の企画にあたって何を狙いにしようかと考えたときに、本会が贈る賞の名前に入っている「若手」という言葉にピンとききました。そう、若手チームを取り上げて、本会の学生会員やジュニア会員を元気づけることを特集の狙いにしよう、ということになりました。そのため、概要記事に続いては、優秀な成績により表彰を受けた学生主体の2チーム「KAMOGAWA」と「がんちゃん+X」に、ETロボコンへの取り組みについて尋ねるインタビュー記事を掲載しています。彼ら光る若手の熱いメッセージが、読者の皆様の心に届きますように。

(平山貴司／本ミニ特集エディタ)

複写される方へ

一般社団法人情報処理学会では複写複製および転載複製に係る著作権を学術著作権協会に委託しています。当該利用をご希望の方は、学術著作権協会（<https://www.jaacc.org/>）が提供している複製利用許諾システムもしくは転載許諾システムを通じて申請ください。

尚、本会会員（賛助会員含む）および著者が転載利用の申請をされる場合には、学術目的利用に限り、無償で転載利用いただくことが可能です。ただし、利用の際には予め申請いただくようお願い致します。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

Information Processing Society of Japan authorized Japan Academic Association for Copyright Clearance (JACC) to license our reproduction rights and reuse rights of copyrighted works. If you wish to obtain permissions of these rights in the countries or regions outside Japan, please refer to the homepage of JACC (<http://www.jaacc.org/en/>) and confirm appropriate organizations.

You may reuse a content for non-commercial use for free, however please contact us directly to obtain the permission for the reuse content in advance.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
E-mail: info@jaacc.jp
Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	1 色
表 2	330,000 円 (税抜)	—
表 3	275,000 円 (税抜)	—
表 4	385,000 円 (税抜)	—
表 2 対向	300,000 円 (税抜)	—
表 3 対向	265,000 円 (税抜)	155,000 円 (税抜)
前付 1 頁	250,000 円 (税抜)	135,000 円 (税抜)
前付 1/2 頁	—	80,000 円 (税抜)
前付最終	—	148,000 円 (税抜)
目次前	—	148,000 円 (税抜)
差込 (A4 変形判 70.5kg 未満 1 枚)	275,000 円 (税抜)	
差込 (A4 変形判 70.5kg ～ 86.5kg 1 枚)	350,000 円 (税抜)	
同封 (A4 変形判 1 枚)	350,000 円 (税抜)	

■「情報処理」

発 行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000 部
 体 裁 A4 変形判
 発 行 日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1 頁 天地 250mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 120mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 280mm × 左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 アドコム・メディア (株) (Tel/Fax/E-mail は下に記載)

* 原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 * 同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック ☐ を入れ、送付希望先をご記入の上、Fax にて（または E-mail にて必要事項を記入の上）アドコム・メディア (株) 宛にご請求ください。

■「情報処理」 61 巻 6 号 掲載広告 (五十音順)

- ☐ インタフェース 表 2 ☐ すべての会社を希望
☐ 講談社 表 2 対向
☐ とめ研究所 前付最終上

■資料送付先

フリガナ お 名 前			
勤 務 先	所属部署		
所 在 地	(〒 -)		
TEL ()	-	FAX ()	-
ご専門の分野			



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア (株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp

賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world
NEC

日本電気 (株)

**MITSUBISHI
ELECTRIC**
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent.

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルート

Google

グーグル合同会社

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

TOSHIBA

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

FORUM 8
フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

TTC
Telecommunication
Technology
Committee

(一社) 情報通信技術委員会

NTT data

(株) NTT データ

GREE

GREE (株)

Rakuten
Institute of Technology

楽天技術研究所

IA japan

(一財) インターネット協会

ISA

情報サービス産業協会

**TREND
MICRO**

トレンドマイクロ (株)

NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

NTTテクノクロス

NTT テクノクロス (株)

uejima

(株) うえじま企画

OKI

沖電気工業 (株)

Canon
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン (株)

**CORE MICRO
SYSTEMS INC.**

コアマイクロシステムズ (株)

SANBI

三美印刷 (株)

SEPTENI

(株) セプテーニ

SONY

ソニー (株)

**team
Lab**

チームラボ (株)

**TECHNOPRO
Design**

(株) テクノプロ
テクノプロ・デザイン社

Panasonic

パナソニック (株)

MIZUHO みずほ情報総研

みずほ情報総研 (株)